

子どもに一番怖い

脱水症

人間の身体の半分以上は水分で、血管を流れ、臓器を動かし、身体を保つ上で重要な働きをしています。嘔吐や下痢などで水分が失われると、いろいろな器官や細胞の活動が鈍くなります。血液は濃くなって循環しにくくなり、脳、肝臓、腎臓、の働きが悪化し、尿もへります。

症状としては・・・

くちびるがカサカサになり、舌はしめりけがなく、目はくぼみ、不機嫌でぐったりします。尿量が減ったり次第に意識がぼんやりして、ひきつけることもあります。

水分補給は十分に！！

こどもは特に水分が不足がちになるので、発熱、おう吐、下痢などの症状がある時は脱水にならないよう十分に水分補給します。

普段から水分を十分取らせるようにしましょう。